

スマホ・ケータイの機能利用志向の類型化 —2003年・2010年・2020年・2025年調査の比較—

- 水野 一成 (株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 近藤 勢津子 (株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 廣瀬 通孝 (東京大学 名誉教授)

目的

機能利用に関する設問を基に類型化をおこなう。
過去の調査結果と比較し、現在の特性を考察する。

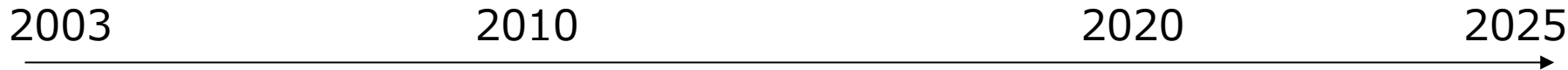
調査概要

調査時期	2025.1
調査方法	訪問留置調査法
調査対象	関東, 15～79歳
割付	性別・年齢・エリア・都市規模
サンプル数	450

分析の流れ

1. 2025年調査を基に因子分析を実施
2. クラスタ分析を実施し類型化
3. クラスタの属性・QOL・ライフスタイルを確認
4. 因子及びクラスタを2003年・2010年・2020年と比較

年次

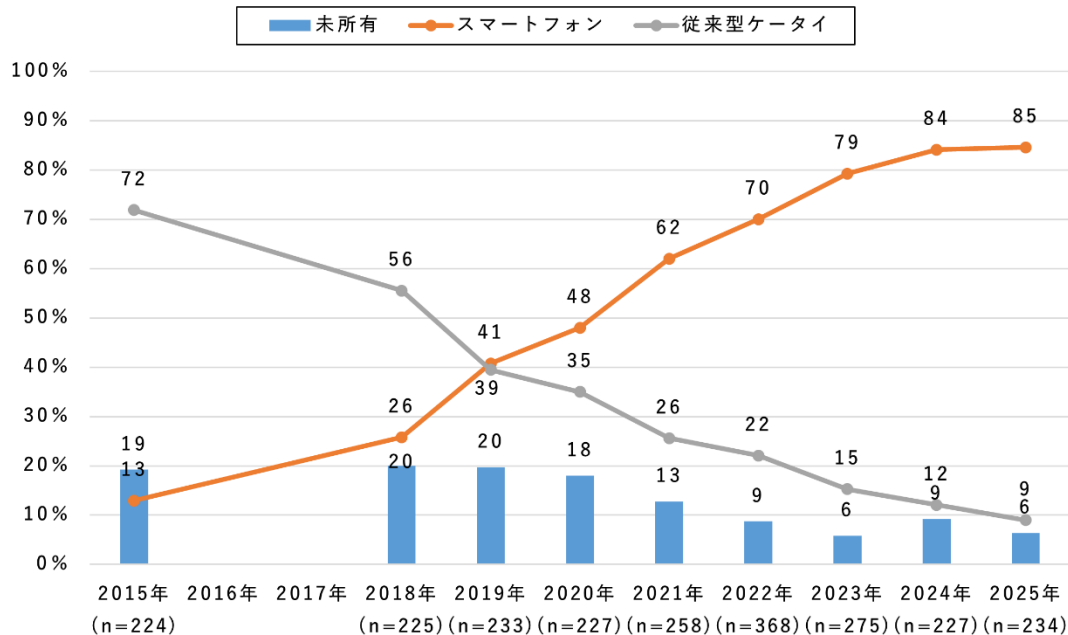


ケータイ※1
(94.4%)

ケータイ
(スマホ4.4% ※2)

スマホ88.9% ※2 スマホ98.0% ※3

図1 70代スマホ所有率推移



70代 スマホ所有率
48%→85% ※3

※1 情報通信白書
 ※2 モバイル社会研究所 経年調査
 ※3 モバイル社会研究所 シニア調査

スマホ・ケータイに関わる機能に対する評価や利便性など、計22問4件法で調査→6因子を抽出

	実用	夢中	人物把握	SNS志向	通話/メール志向	未来志向
映画・演劇・コンサートなどのチケットの予約ができて便利だ	0.85	0.15	0.12	0.00	0.05	0.04
乗車券・航空券などの予約ができて便利だ	0.82	0.09	0.12	0.04	0.04	0.02
バスや電車の切符代わりになって便利だ	0.78	0.13	0.10	0.05	0.03	0.07
スマホ・ケータイをかざして、買い物ができるのは便利だ	0.73	0.20	0.11	0.08	-0.01	0.00
状況に応じた自然な外国語の同時通訳ができたなら便利だ	0.63	0.13	-0.18	0.03	-0.05	0.18
事故や犯罪など危険を事前に察知して警告してくれたら便利だ	0.62	0.12	-0.06	0.02	0.11	0.19
健康管理や急病時の通報をしてくれたら便利だ	0.59	0.04	-0.18	0.01	0.08	0.25
メール・SNSをしていると時間を忘れる	0.15	0.90	0.07	0.11	0.11	0.05
スマホ・ケータイで話していると時間を忘れる	0.06	0.69	0.12	0.09	0.16	0.12
動画を見たりゲーム等をしていると時間を忘れる	0.23	0.67	0.16	0.07	0.06	0.10
自分らしく生きるためにSNSは欠かせない	0.26	0.43	0.23	0.40	0.17	0.12
情報収集にはSNSが欠かせない	0.38	0.41	0.08	0.30	0.07	0.04
スマホ・ケータイを忘れると落ち着かない	0.30	0.37	0.11	0.04	0.09	0.14
どんなスマホ・ケータイを持っているかでその人のセンスがわかると思う	0.01	0.23	0.85	0.17	0.08	0.21
どんなスマホ・ケータイを持っているかで人柄がわかると思う	0.00	0.21	0.82	0.14	0.09	0.19
いろいろ頼んだり相談したりするのはSNSが一番だ	0.06	0.14	0.12	0.81	0.18	0.00
大事な連絡は電話やメールよりもSNSの方が確実だ	-0.02	0.09	0.08	0.76	0.19	0.00
なにかを頼んだり相談したりするのはスマホ・ケータイで話すに限る	0.03	0.14	0.06	0.07	0.95	-0.03
大事な連絡はスマホ・ケータイで話すのが一番だ	0.08	0.14	0.01	0.22	0.62	0.08
いろいろ頼んだり相談したりするのはメールが一番だ	0.04	0.10	0.10	0.26	0.37	0.07
未来のスマホ・ケータイの姿がどうなるのか非常に楽しみである	0.20	0.17	0.26	0.05	0.09	0.82
将来、新たに何か出来るようになるのか楽しみである	0.31	0.20	0.19	0.00	0.03	0.74

因子抽出法: 主因子法

回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

a 6 回の反復で回転が収束しました。

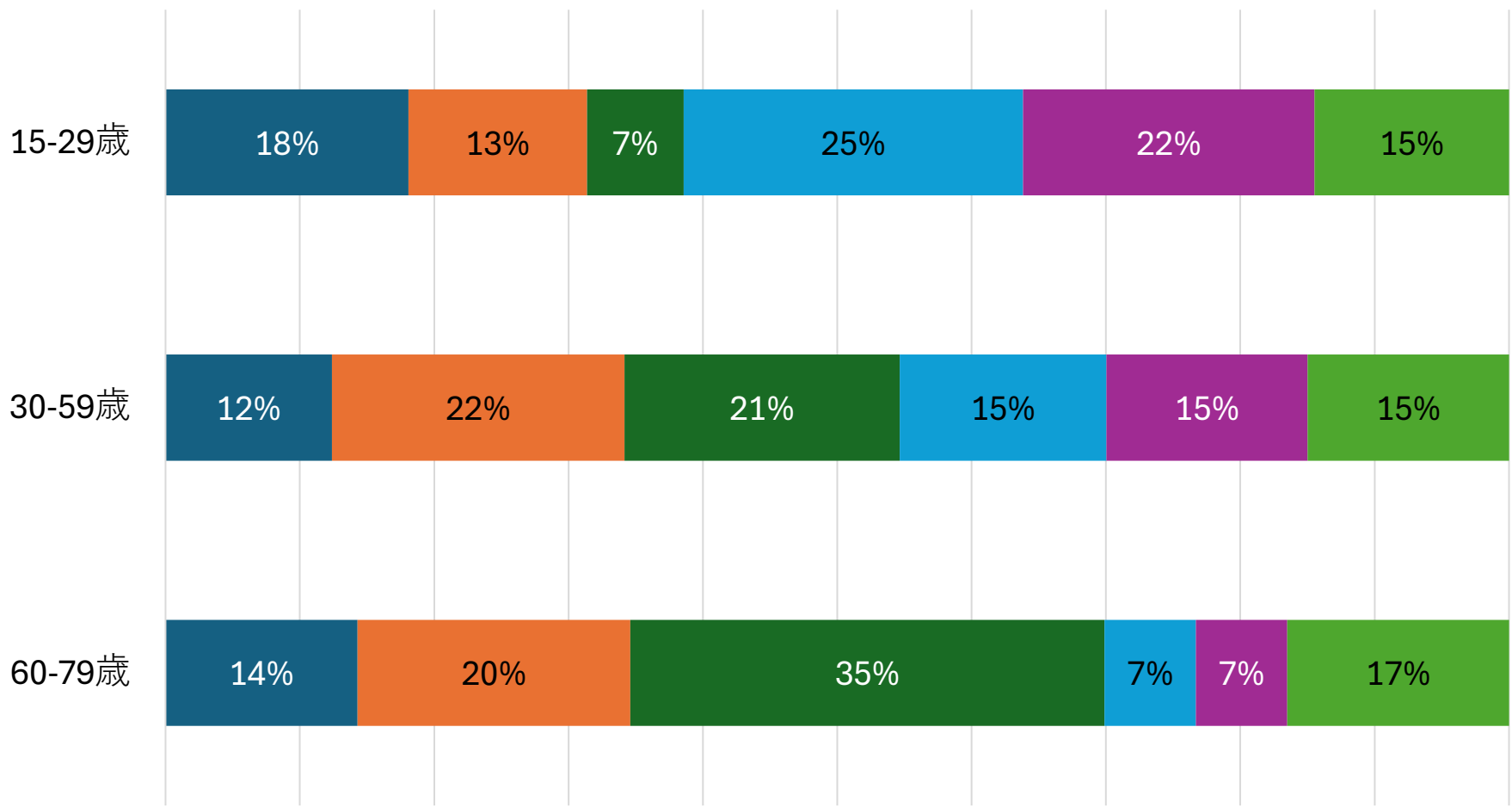
6クラスタに分ける

	多面活用	通話/メール志向	消極	人物像	夢中	SNS
实用	0.52	0.14	-1.06	0.14	0.47	0.35
夢中	-0.02	-0.14	-0.30	0.39	1.08	-0.72
人物把握	-0.42	-0.24	0.04	1.56	-0.58	-0.34
SNS志向	-0.26	-0.11	-0.33	0.27	-0.13	0.72
通話/メール志向	-0.51	1.36	-0.35	-0.14	-0.32	-0.36
未来志向	-1.21	-0.10	0.05	0.18	0.60	0.44
回答数	63	89	101	66	62	69
構成比	14%	20%	22%	15%	14%	15%

「夢中」「人物像」は若年層、「消極」はシニア層の割合が多い



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



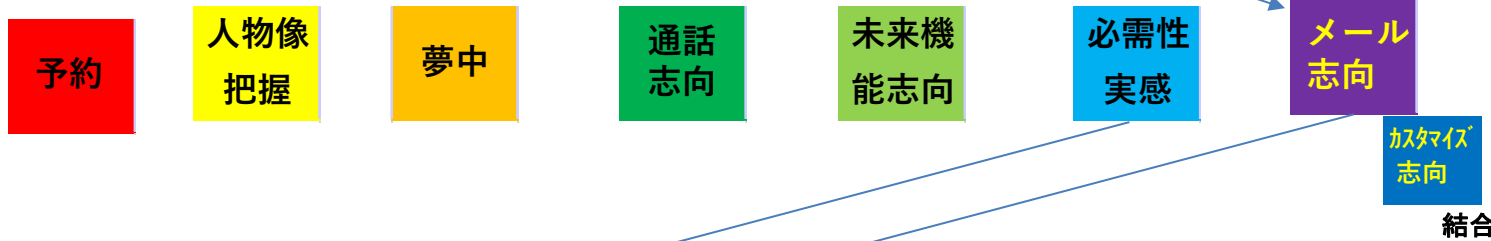
	多面活用	通話/ メール志 向	消極	人物像	夢中	SNS	全体	備考
平均年齢（歳）	45.4	52.2	57.0	39.0	40.1	50.2	48.4	15-79歳
男性比(%)	38.1	51.7	49.5	53.0	40.3	66.7	50.2	
政令市及び特別区	39.7	36.0	36.6	51.5	35.5	43.5	40.0	
20万以上市	28.6	22.5	29.7	18.2	22.6	23.2	24.4	
10万以上市	17.5	20.2	13.9	16.7	19.4	20.3	17.8	
10万未満	14.3	21.3	19.8	13.6	22.6	13.0	17.8	
生活満足度（点）	7.1	6.4	6.1	6.7	6.5	6.3	6.5	0-10点
健康満足度（点）	6.6	5.9	5.7	6.3	6.1	5.9	6.0	0-10点
幸福感（点）	7.4	6.8	6.6	7.0	7.2	6.8	6.9	0-10点
イノベータ（点）	8.0	7.6	7.8	8.7	8.8	8.2	8.1	4-16点
情報欲求志向（点）	4.2	4.3	4.3	5.0	5.2	4.7	4.6	2-8点
個性派（点）	5.3	5.2	5.3	4.7	4.8	5.1	5.1	2-8点
遅延（点）	5.6	5.9	6.0	5.4	5.5	6.0	5.8	2-8点

この5年の変化・・・「予約」と「未来機能志向」が統合され「実用」、「未来志向」の誕生
 2003年からの変化・・・大きな変化はない。「人物把握」や「夢中」は2003年から変わらず抽出

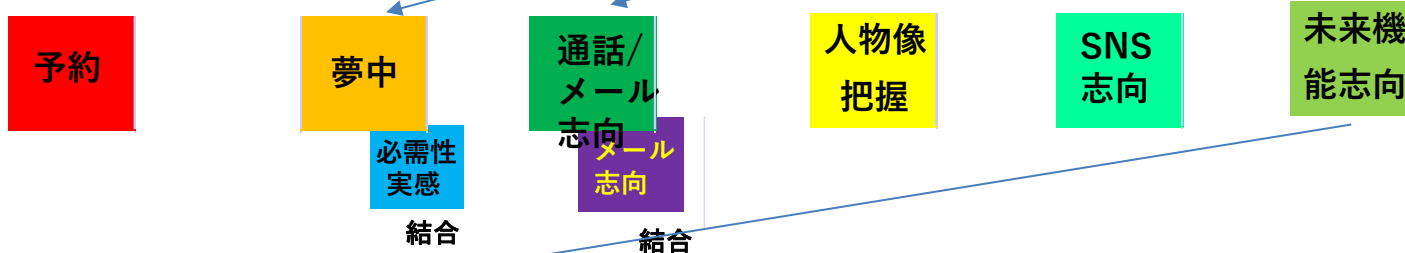
2003年調査



2010年調査



2020年調査

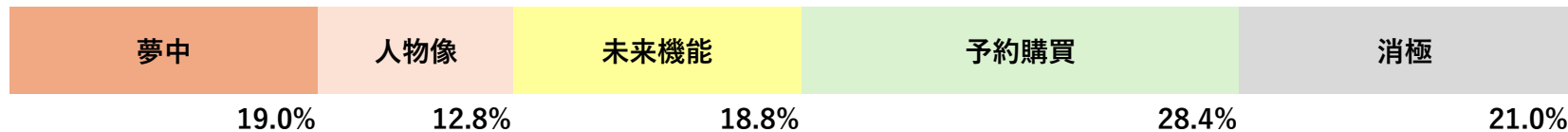


2025年調査

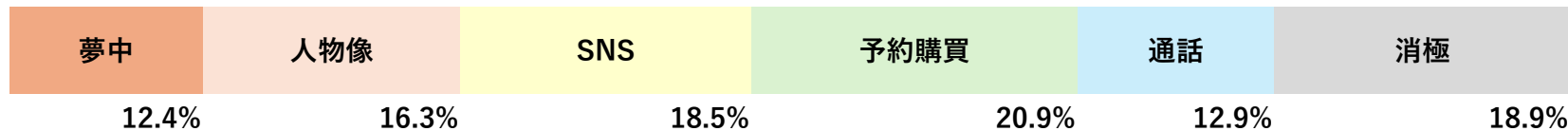


この5年の変化・・・構成比の変化。「夢中」と「消極」が減少傾向から増加へ。
 高齢者のスマホ移行とその理由が「能動から受動」へ変化。

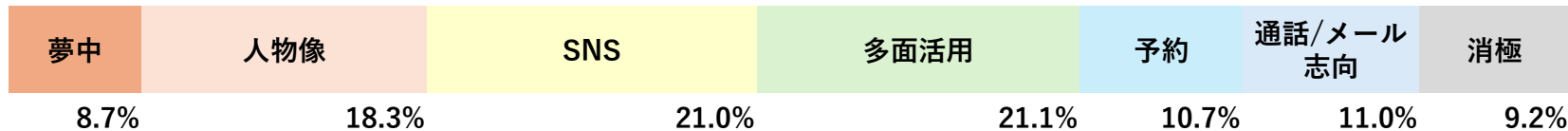
2003年



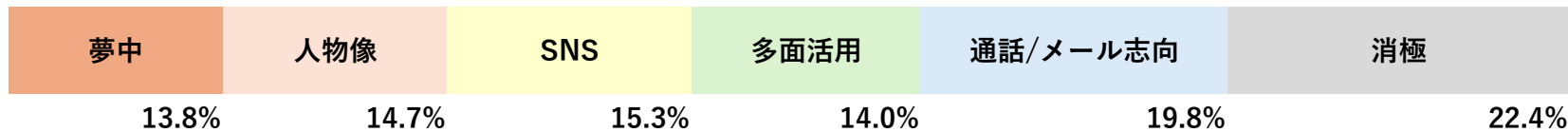
2010年



2020年



2025年





ご清聴ありがとうございました